

ウ 委 員 (33名)

氏 名	委 嘱 時 職 名
◎本 名 佑 雄	南郷村村長
○五十嵐 和 好	議会文教厚生委員長
○大 塚 勝 友	教育委員長
○目 黒 幸 雄	教育長
馬 場 清 雄	議会議長
五十嵐 勝 司	住民課長
関 新	社会教育委員の会議議長
辺 見 純 一	保護司
芳 賀 伊奈雄	保護司
目 黒 英 宏	J A会津みなみ事業部長
加 藤 栄三郎	商工会会長
酒 井 多賀子	民生児童委員総務
鈴 木 依 子	主任児童委員
馬 場 恒 正	人権擁護委員
馬 場 文 教	人権擁護委員
湯 田 英 治	体育協会会長
酒 井 英 光	文化協会会長
山 口 孝一郎	区長会会長
五十嵐 哲	青年会会長
加 藤 アキ子	大宮婦人会会長
仲 丸 ミトリ	富田婦人会会長
酒 井 政 利	交通安全協会南郷支部長
大 平 健太郎	南郷駐在所警部補
馬 場 律 子	交通安全協会母の会会長
青 木 泰	体育指導委員会会長
五十嵐 政 次	南郷第一小学校PTA会長
五十嵐 公 隆	南郷第二小学校PTA会長
酒 井 健	南郷中学校PTA会長
森 豊 喜	南会津高等学校PTA会長
佐 藤 憲	南郷第一小学校長
星 慎 一	南郷第二小学校長
渡 部 喜久男	南郷中学校長
山 田 和 彦	南会津高等学校長

(◎会長 ○副会長)

エ 成 果

- 村広報誌、道徳教育関係チラシ、学校だより、学級だより等を利用して道徳教育推進事業についての記事を積極的に掲載し、住民の方への道徳教育推進事業の啓発を図ることによって推進事業に対する理解が深まった。
- 各小中学校での道徳の授業の一般公開は、保護者の方はもちろん、住民の方の道徳教育に対する理解が深まり、児童理解ひいては学校理解につながった。

5 特別活動

(1) 主な研修及び行事

- ① 県小学校教育研究会特別活動部会
 - ア 主 催
県教育委員会、県小学校教育研究会、開催市町村教育委員会
 - イ 研究主題
望ましい集団活動を通して、集団の一員としての自覚を高め、豊かな心とたくましい実践力を育てる指導はどうあればよいか。
～ 学級活動、児童会活動を中核として ～
 - ウ 県研究協議会
○期日 平成9年10月22日(水)・23日(木)
○会場 福島市立湯野小学校
- ② 県中学校教育研究会特別活動部会
 - ア 主 催
県教育委員会、県中学校教育研究会、開催市町村教育委員会
 - イ 研究主題
望ましい集団活動を通して、主体的に取り組む態度を育て、一人一人の自己実現を図る特別活動の指導はどうあればよいか。
副主題 ～ 一人一人の自己実現を目指す
進路指導 ～
 - ウ 県研究協議会
○期日 平成9年10月23日(木)
○会場 福島市立信陵中学校

6 生徒指導・進路指導

(1) 生徒指導

- ① 指定校による研究推進
 - ア いわき市立中央台北中学校
○指 定 文部省、中学校生徒指導総合推進校
平成8～9年度
○研究主題 「心豊かに行動できる生徒の育成」
～ 学校と家庭・地域の連携を通して ～
- ② 生徒指導に関する研修会(カウンセリング研修会)
 - 期日 各教育事務所ごとに9・10月中に3日間実施
 - 対象 公立小・中学校の教員 400名
- ③ 生徒指導推進会議
 - ア 文部省主催
○期 日 平成10年2月24日(火)
○会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
○参加者 県教育庁義務教育課指導主事 栗林 正樹
県教育センター教育相談部主任指導主事 長谷川次男
須賀川市教育委員会指導主事 藤田 久夫
いわき市立中央台北中学校校長 鈴木 明
県PTA連合会事務局長 小松 栄
 - イ 県教育委員会主催(義務教育課)
○期 日 平成9年7月15日(火)